

事業 140	補助金の名称	地力増強推進対策事業補助金				担当部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業目的	対象(交付先)	いみず野農業協同組合<経由> 農業者 (農協と市のティアップ事業)						
	意図(補助目的)	水稻・麦・大豆の安定的な農業生産と品質向上による経営安定の確立						
事業内容	手段(主な活動)	<p>近年農産物に対し、安全で安心して食べられ、かつ高品質で安定して供給されることが望まれており、あらゆる気象変動に対応できる「土づくり」が重要である。</p> <p>現在の管内の水田土壌は、有効態珪酸含有量やpHの低下、腐食含み量の不足等、地力の面で危機的な状態にあり、米や大豆、大麦等の収量・品質低下の一因となっていたため、土壌改良資材の全面積散布を目標に事業を推進し、収量の安定と品質の向上に努める。</p>						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	土壌改良資材の規定量全面積施用(50袋/ha)	ha	1,518	3,497	1,583	45.3
	一等米比率の安定と向上	%	96.4	95	91.7	96.5
	大豆の品質向上(1~3等比率)	%	58	70	78.4	112.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,959 千円	(金額)	5,306 千円	(金額)	5,397 千円	
	(件数)	653 件	(件数)	622 件	(件数)	585 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	H21年度 5%補助(農協も同率補助)				千円	
定率補助	施用数79,162袋 × 平均単価1,363.74円 107,956,000円				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他	107,956,000円 × 5% = 5,397千円						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	作物の品質向上は、生産者にも消費者にもメリットがある。
有効性	4	21年度は、異常気象により若干品質低下したが、品質の高位平準化が図られている。
効率性	3	目的が類似する補助金が県単独事業にあるが、本補助は、作目を限定せず地力の増強を図るものである。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	作物の品質と収量を維持向上させるために、今後とも補助の継続が必要である。

事業	補助金の名称	大豆・大麦種子更新対策事業補助金	担当部署	部名	産業経済部		
141				課名	農林水産課		
				電話	82 - 1959		
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち	予算科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり				項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進				目	農業振興費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等	射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱						

事業目的	対象(交付先)	いみず野農業協同組合<経由> 農業者 (農協と市のタイアップ事業)			
	意図(補助目的)	麦・大豆の品質の均一化と安定生産と安全性の確保			
事業内容	手段(主な活動)	トレーサビリティ対策も含め、全量消毒済み種子更新を進め、実需者ニーズに応えるべく収量の安定と品質の向上を図る。			
類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
	格差是正補助	利子補給	その他()		

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	大麦の一等比率(製品比率)の向上	%	89.1	90	81.5	90.6
	大麦収量の増加と安定	kg/10a	285	285	262.7	92.2
	大豆収量の増加と安定(エンレイ) (オオムル196)	kg/10a	128	150	175	116.7

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	5,247 千円	(金額)	5,825 千円	(金額)	7,176 千円
	(件数)	101 件	(件数)	98 件	(件数)	94 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	H21年度 1/6補助(農協も同率補助) 大豆種子: 27,553kg × 960円 = 26,450,880円(433ha) 大麦種子: 42,464kg × 390円 + 150kg × 330円 = 16,610,460円(498ha) (26,450,880円 + 16,610,460円) × 1/6 = 7,176,890円			千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	作物の品質向上は、生産者にも消費者にもメリットがある。
有効性	4	21年産は、異常気象により大麦においては、収量・品質共に低下したが高位平準化に効果があった。
効率性	3	目的が類似する補助金はあるが、作物の品質向上は地力増強のみに止まらず、種子の維持が必要である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	種場種子の使用は、麦・大豆の品質の維持向上に重要であり、引続き補助を行いたい。

事業 142	補助金 の名称	農協営農生活指導強化事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	いみず野農業協同組合			
	意図 (補助目的)	営農情報等の適時、適切な提供や技術研修会等により、米をはじめとした農作物の栽培技術の高位平準化や集落営農の組織化、担い手の育成を図る。			
事業 内容	手段 (主な活動)	地域農業振興計画を実践し、農作物の生産振興、農業の担い手育成、生産の組織化などが着実に推進できる指導体制の構築に努める。			
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
	格差是正補助	利子補給	その他()		

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	営農指導員数の維持・拡大	人	21	22	24	109.1

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	9,945 千円	(金額)	8,922 千円	(金額)	8,027 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容				上限額
	定額補助	H17、18年度の(3,510ha × 100 × @1,000円/10a × 1/3)を基本とし、19年度は15%のマイナスシーリング、20年度は面積考慮 × 10%のマイナスシーリング、21年度は面積考慮 × 10%のマイナスシーリング × 0.85 × 0.9 × 0.9 × 0.9				11,700 千円
定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	営農指導員の育成強化は、農業全般の維持向上につながる。
有効性	4	地域農業者への技術指導等が促進され、水田農業ビジョンの目標達成へ前進する。
効率性	3	県単独補助事業により一部補助されるが、人件費の補助はない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地域農業の維持向上には、支店単位での営農指導員の継続配置確保が必要であり、対象経費を一部見直し、引続き支援する。

事業 143	補助金 の名称	農業経営支援事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	農業生産法人、集落営農組合、認定農業者						
	意図 (補助目的)	農業経営の安定化、経営体の育成						
事業 内容	手段 (主な活動)	農業用機械及び近代化施設の再整備						
類 型 区 分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
	格差是正補助		利子補給		その他()			

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	取組可能経営体数の拡大	経営体	15	20	27	135.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	9,540 千円	(金額)	9,953 千円	(金額)	8,871 千円	
	(件数)	18 件	(件数)	15 件	(件数)	27 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	限度事業費10,000千円の1/10以内を補助限度とし、要件によるポイントを勘案し補助するもの				10,000 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	農業経営経費の軽減による農業の継続は、食料の自給において、重要である。
有効性	4	平成21年度からポイント制を導入したことにより、経営の向上を目指すなど努力目標に即した補助とした。
効率性	4	平成21年度からポイント制を導入したことにより、実績補助金額を抑えつつ、より多くの経営体に対し補助している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	農業経営に係る農業用機械の維持費軽減支援は、現在の農業状況において、引き続き補助が必要です。

事業 144	補助金 の名称	畦畔除去整備事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成			平成			年度	
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	農業生産法人、集落営農組合、認定農業者						
	意図 (補助目的)	農業経営の安定化に向けた農作業の効率化・省力化						
事業 内容	手段 (主な活動)	小区画(10アール)ほ場のブロック畦畔等を除去し、農作業の効率化を図る。						
		類 型 区 分	団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助		

成果 指標	指 標 名	単 位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	取組経営体数	経営体	18	20	15	75.0
	除去延長	m	13,501	16,000	10,272	64.2

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	9,000 千円	(金額)	6,339 千円	(金額)	5,133 千円	
	(件数)	11 件	(件数)	18 件	(件数)	15 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	平成20年度補助見直し ブロック畦畔等の除去標準単価の1/3以内を補助するもの 1,500円/m × 1/3 = 500円/m				8,000 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	農業の省力化に係るものであり、農業経営の安定につながる。
有効性	4	地域に合った効率的なほ場形成に有効である。
効率性	4	軽易な土地基盤に係る補助は他に無く、効率的なほ場形成が確保される。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	平成20年度に補助見直しを行ったところであり、農業の省力化対策支援として、引き続き必要です。

事業 145	補助金 の名称	農業産業まつり運営補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成			年度				
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	射水市農業産業まつり実行委員会						
	意図 (補助目的)	市内の農業生産者及び商工業者の積極的な参画により、広く農業・商工業に関する情報提供・普及啓発等を行い、市気農業・産業の再発見と持続的な発展に資することを目的とする。						
事業 内容	手段 (主な活動)	農業生産者による農産物・特産品等の展示・販売 商工業者による企業の製造品、試作・開発品等の展示・販売 姉妹都市(千曲市、剣淵町)の特産品販売 郷土芸能等のステージイベントの実施 特産品等に関するクイズや抽選会の実施 その他各種農業産業に関するコーナー等の設置						
		類型区分	団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助		

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	入場者数	人	5,000	5,500	7,000	127.3
	出展者数	人	43	50	62	124.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	3,600 千円	(金額)	3,250 千円	(金額)	2,925 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	平成18年度まで、観光ブランド課所管 平成19年度を基準額とし、年々マイナスシーリングにより減額となっている。 その他				3,600 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	対象事業は、主に射水市内における農産物の生産組織、加工グループや市内産業の出展により、全市民を対象として、農業産業の振興による地産地消の推進を図っている。
有効性	4	市内の農業生産者(13団体)、水産業者(2団体)、商工業者(43事業者)及びその他(4団体)の積極的な参画があり、来場者も二日間累計で7,000人程度と推計される。
効率性	4	市補助金は、21年度実績で2,925千円となっており、全体事業費(6,715千円)の43パーセントを占める。決算額では、事業費の2~3パーセント程度が次年度への繰越金となっているが、次年度実施に係る事業費補強に充てられている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	本事業は、実施場所、出展品目(内容)、天候に左右される面が大きい。 事業内容がマンネリ化しないよう重点に、出展事業者、来場者の増加対策の検討について実行委員に働きかける。

事業 146	補助金 の名称	水田農業構造改革県単独助成事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部
						課名	農林水産課	
				電話	82 - 1959			
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち		予算 科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり					項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進					目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱、富山県米政策改革推進助成事業補助金交付要綱						

事業 目的	対象 (交付先)	農業生産法人、集落営農組合、認定農業者					
	意図 (補助目的)	収益性の高い水田農業を推進するため、担い手農業者による高品質な大豆等の生産を図る。					
事業 内容	手段 (主な活動)	高品質な麦・大豆を生産するため、地力増進作物を組み合わせた作付け体系を推進する。					
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
	格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	作付け面積の拡大	a	7,767	8,000	9,268	115.9
	対象経営体数	経営体	18	19	15	78.9

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	419 千円	(金額)	2,321 千円	(金額)	2,773 千円
	(件数)	(1,400.9a) 4 件	(件数)	(7,767a) 18 件	(件数)	(9,268a) 15 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	< 県単独補助事業 > (10/10県補助) おおむね1ha以上の集団的な取組による、ヘアリーベッチ跡大豆又はク ロタラリア跡麦を組み合わせた作付け体系に対し、3,000円/10aを補助する もの			千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定 額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	担い手農業者による高品質な大豆等の生産により、収益性の高い水田農業が推進される。
有効性	4	国の経営所得安定対策等大綱に基づく新たな米政策に対応したものである。
効率性	4	全額県補助金である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	作付け拡大は顕著であり、大麦・大豆の品質向上に向けた取組みとして継続する。

事業 147	補助金 の名称	園芸作物等特産振興補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱、富山県米政策改革推進助成事業補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	農業生産法人、集落営農組合、認定農業者			
	意図 (補助目的)	経営の複合化による水田作経営の体質強化を図る。			
事業 内容	手段 (主な活動)	射水市が生産振興を図る園芸作物の作付けに対し助成する。			
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
	格差是正補助	利子補給	その他()		

成果 指標	指 標 名	単 位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				作付け面積の拡大	a	1,515
対象経営体数	経営体	39	40	41	102.5	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	1,493 千円	(金額)	1,861 千円	(金額)	1,614 千円
	(件数)	(1,205.8a)35 件	(件数)	(1,515.8a)39 件	(件数)	(1,322.1a)41 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	< 県単独補助事業 > (10/10県補助) H21園芸振興作物(ねぎ、えだまめ、かぼちゃ、軟弱野菜、切花、キャベツ、もも) 補助単価(10a当り):野菜・花 8千円・果樹 16千円、担い手加算 5千円 H21野菜・花 1,261.7a・果樹 60.4a、担い手加算			千円 上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
定率補助						
その他						

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	園芸振興作物の生産補助により、担い手等の経営の安定が図られ、市民に安心で安全な農産物の提供が行われる。
有効性	4	国の経営所得安定対策等大綱に基づく新たな米政策に対応したものである。
効率性	4	全額県補助金である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	特産振興作物の、生産拡大による経営安定に向け、継続が必要です。

事業 148	補助金の名称	生産調整事務補助金				担当部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱、富山県米政策改革推進対策指導推進費補助金交付要綱							

事業目的	対象(交付先)	射水市水田農業推進協議会			
	意図(補助目的)	生産調整の推進を目的とする。			
事業内容	手段(主な活動)	米の需要量に関する情報の算定及び情報提供、生産数量目標の配分の設定、生産調整実施状況の確認及びその他生産調整に係る事務を行う。			
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助	利子補給	その他()	

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	生産調整の達成	%	100	100	100	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	2,300 千円	(金額)	2,300 千円	(金額)	2,300 千円	
	(件数)	2 件	(件数)	2 件	(件数)	2 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	< 県単独補助事業 > (県補助1,400千円 + 市補助900千円) 認定方針作成者に対するの需要量に関する情報の算定及び情報提供 等				2,300 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他						500千	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	各農業者への生産数量目標の設定により、公平性が確保される。
有効性	4	国の経営所得安定対策等大綱に基づく新たな米政策に対応したものです。
効率性	4	水田農業推進協議会への事務費他、人件費補助であり、当該経費が必要です。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	米の需給調整は必要であり、協議会による一元的事務処理は必要です。

事業 149	補助金 の名称	産地づくり対策補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	大麦・大豆生産者						
	意図 (補助目的)	大麦・大豆の作付け推進						
事業 内容	手段 (主な活動)	大麦・大豆の作付けを推進するため、国交付金の上乗せにより、生産費の補填を行う。						
類 型 区 分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
	格差是正補助		利子補給		その他()			

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	大麦の作付拡大	a	47,031	47,000	51,221	109.0
	大豆の作付拡大	a	49,726	49,000	42,920	87.6

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	48,933 千円	(金額)	48,753 千円	(金額)	43,642 千円	
	(件数)	(74,593.4a)100 件	(件数)	(81,255.5a)105 件	(件数)	(79,349.1a)100 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	平成18年度内容見直し 大麦・大豆の作付け出荷に対し、定額補助するもの H21対象面積[大麦:51,221.2a、大豆:42,920.8ha(うち14,792.9aは二毛作)] H21補助金額[5,500円/10a] シーリング対象につき毎年変更となる。				43,911 千円	
定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	大麦・大豆の作付けの団地化や集積化が図られ、米の生産調整が推進される。
有効性	4	国の産地確立交付金を補完する。
効率性	3	国の産地確立交付金があるが、上乗せによる経営支援である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	平成22年度は、戸別所得補償モデル対策が実施され、水田利活用自給力向上事業により、大麦・大豆について、交付金が交付されることとなるが、交付単価はこれまでとほとんど変わらない。今後、平成23年度からの大麦・大豆に係る戸別所得補償の制度設計が明らかになるのを待っての判断としたい。

事業 150	補助金の名称	生産調整計画推進事業補助金				担当部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農業振興費
補助期間		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業目的	対象(交付先)	各集落生産組合						
	意図(補助目的)	地区内の生産調整が円滑に行われ、米の生産調整としての産地づくりを推進するもの						
事業内容	手段(主な活動)	配分された米の生産目標数量(面積)に応じ、作目の実施計画書を作成し、地区内の生産調整を取りまとめる。						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	生産調整の達成	%	100	100	100	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	6,994 千円	(金額)	6,995 千円	(金額)	6,985 千円	
	(件数)	(349,761.1a)212 件	(件数)	(349,761.1a)212 件	(件数)	(349,262.9a)212 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	生産組合内水田面積に対し、200円/10aを生産組合に交付するもの				7,000 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	生産調整は、米価格の下落を抑えるとともに、野菜などの生産により、地産地消を促進させる。
有効性	4	米の需給調整に重要な役割を果たしている。
効率性	4	生産の調整事務を行う生産者に対する補助金は他に無い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地区の生産調整を円滑に推進するために必要であり、引続き補助することとしたい。

事業 157	補助金 の名称	認定農業者等利用集積支援事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成 年度		~	平成 年度		年度		
根拠法令・要綱等		射水市農地流動化事業補助金交付要綱、認定農業者等利用集積支援事業実施要領							

事業 目的	対象 (交付先)	認定農業者、認定就農者、農業生産法人						
	意図 (補助目的)	効率的かつ安定的な農業経営を行う担い手が相当部分を占める地域農業を目指すもの						
事業 内容	手段 (主な活動)	認定農業者等の個別経営及び法人経営への利用権設定による農地のモデル的な利用集積により、農地利用の円滑化を図る。						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				担い手への農地の新規利用権設定面積(100a以上)	a	1,396
農地の新規利用権設定担い手者数	経営体	4	5	4	80.0	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	1,725 千円	(金額)	1,396 千円	(金額)	787 千円
	(件数)	(1,725a)9 件	(件数)	(1,396a)4 件	(件数)	(787a)4 件
	補助区分	内 容				上限額
	定額補助	< 県単独補助事業(1/2は市の義務負担) > 認定農業者が、組織等の構成員外の者と1ha以上の農地を、6年以上で利用権設定する場合、10,000円/10aを交付。				千円
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	利用集積補助は、農地を貸す人と借りる人の法的手続き経費や報償的補助であり、農地の荒廃を防ぐなどの公益性も併せ持つ。
有効性	4	経営基盤強化法に基づく、本市の基本的な構想に定める経営規模の拡大と安定的な経営の促進に有効である。
効率性	4	市単独補助と対象区分しており、補助重複せず農地利用の集積円滑化が図られている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	引続き担い手への農地の流動化を推進する。 平成22年度は、国の交付金対象事業化により、平成22年9月中旬で廃止予定である。

事業 158	補助金 の名称	農地流動化事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成			年度				
根拠法令・要綱等									

事業 目的	対象 (交付先)	農業生産法人、認定農業者						
	意図 (補助目的)	利用権設定により、規模拡大と安定的な経営を促進し、農地利用の円滑化を図る。						
事業 内容	手段 (主な活動)	定められた要件に従って農地の利用権設定をした場合に補助金を交付する。						
類 型 区 分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
	格差是正補助		利子補給		その他()			

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				担い手への農地の新規利用権設定面積(50a以上)	a	1,436
農地の新規利用権設定担い手者数	経営体	5	5	5	100.0	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,401 千円	(金額)	1,275 千円	(金額)	271 千円	
	(件数)	(4,342a)12 件	(件数)	(1,436a)5 件	(件数)	(555.59a)5 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	<市単独補助>20年度改正 認定農業者が、50a以上の農地を、6年以上の利用権設定するものであって、組織等の構成員外との設定の場合は、10,000円/10aを交付。 また、組織等の構成員内(世帯員含む)との設定の場合は、2,000円				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	流動化補助は、農地を貸す人と借りる人の法的手続き経費や報償的補助であり、農地の荒廃を防ぐなどの公益性も併せ持つ。
有効性	4	経営基盤強化法に基づく、本市の基本的な構想に定める経営規模の拡大と安定的な経営の促進に有効である。
効率性	4	県単独補助と対象区分しており、補助重複せず農地利用の集積円滑化が図られている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	引続き担い手への農地の流動化を推進するため、助成を行う必要がある。

事業	土地改良事業推進対策費				担当部署	部名	産業経済部		
162	事務事業名					課名	農林水産課		
						電話	82-1959		
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第 3 章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第 1 節 たくましい農業の推進						目	農地費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		～	平成 - 年度				
根拠法令・要綱等		経営体育成基盤整備事業実施要綱(H16.2.27付け農振第2303号)							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	12	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	圃場、農業用排水、ため池、農道等の農業用資源
	意図 (どのような状態に)	効率的に、円滑に営農ができるような状態にする
事業内容	手段 (どのような方法で)	県が行う土地改良事業(圃場整備、ため池整備)に負担金を交付したり、市が老朽化した農道、用排水路並びに、ため池の堤体の補修事業を実施したりする

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	県営土地改良事業	箇所	4	4	4	100.0	3	-	-
	市単独土地改良事業	箇所	10	6	6	100.0	3	-	-
	補修事業のため最終目標は設定しない(H22年度目標は予算額に基づく)。								

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	県営土地改良事業負担金	千円	32046	34946	32357	92.6	12342
	市単独土地改良事業費	千円	5129	3240	9144	282.2	3600

事業費・人員	事業費	H20決算	H21決算	伸率	H22予算
人件費	7,521 千円	7,412 千円	1.4	7,412 千円	
退職手当引当金相当額	1,090 千円	1,090 千円	0.0	1,090 千円	
事業コスト計	47,826 千円	51,570 千円	7.8	27,245 千円	
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円		0 千円
	その他	25,000 千円	14,900 千円	40.4	9,800 千円
	一般財源	22,826 千円	36,670 千円	60.7	17,445 千円
	当該事務従事職員数	1.09 人	1.09 人	0.0	1.09 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	農業生産の基盤となる農業用資源の改良・維持管理は重要
有効性	4	農業生産の向上や維持に有効である
達成度	4	当初に計画したものや、災害等で等で緊急に対応することを要するものを順次実施している。
効率性	4	県・市で効率的に実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	農業生産を維持・向上していくためには、当該事業は必要不可欠なものであり、今後とも効率的・計画的に実施してゆく

事業 163	補助金 の名称	農地・水・環境保全向上対策事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82-1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進						目	農地費
補助期間		平成 19 年度 ~ 平成 23 年度							
根拠法令・要綱等		農地・水・環境保全向上対策実施要綱(平成19年3月30日付け18農振第1777号農林水産事務次官通知)							

事業 目的	対象 (交付先)	農地・水・環境保全向上対策に取り組む組織						
	意図 (補助目的)	農地・水・環境保全向上対策に取り組む組織に補助することにより、既存の農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図る						
事業 内容	手段 (主な活動)	この対策に取り組む組織が、国の定める実施要綱に該当する諸活動に対して助成する。						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				この対策に取り組む活動組織数	箇所	56
この対策の対象面積	ha	1910	1967	1967	100.0	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	13,997 千円	(金額)	20,760 千円	(金額)	21,432 千円		
	(件数)	37 件	(件数)	56 件	(件数)	57 件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	交付額(田4,400円/10a、畑2,800円/10a、草地400円/10a) 負担割合(国50%、県25%、市25%)				千円		
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載							
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	4	農業用排水路等の重要性から見て、集落の人々が地元の農業用水等を共同して清掃・点検することに助成することは妥当である。
有効性	4	集落の人達が共同して集落の農業用水等を清掃・点検等を行うことにより、農業用資源や農村環境の良好な保全と質的向上に有効である。
効率性	3	地元の方が、点検をするので効率的用排水路の維持管理ができる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	この事業は、平成19年度から平成23年度の事業であるが、引き続き適切に事業を実施してゆきたい。

事業 164	補助金の名称 農地防災費				担当部署 部名 産業経済部 課名 農林水産課 電話 82-1959
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち	予算科目 会計 一般会計		款 農林水産業費
	政策名(章)	第3章 豊かな大地に根ざすまちづくり			項 農業費
	施策名(節)	第1節 たくましい農業の推進			目 農地費
補助期間	平成 8 年度 ~ 平成 23 年度				
根拠法令・要綱等	農地防災事業実施要綱(S40.12.14付け40農地D第1829号)別表第11の(1)				

事業目的	対象(交付先)	富山県 他			
	意図(補助目的)	富山県が実施する農地防災事業に要する費用の一部を負担する			
事業内容	手段(主な活動)	国営付帯県営農地防災事業により農業用排水路施設の最大排水能力を増強し、豪雨時の田畑の灌水を防止する。			
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助	利子補給	その他()	

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	排水路改良延長	m	628	277	277	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	76,865 千円	(金額)	368,797 千円	(金額)	8,491 千円	
	(件数)	5 件	(件数)	5 件	(件数)	5 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	工事費の10%、事務費の25%を受益市(射水市、富山市、高岡市)で負担				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	県が実施する広域の農地防災事業について、その受益に応じて費用負担をすることは妥当である。
有効性	4	豪雨時の田畑への灌水防止に効果がある。
効率性	4	広域的に農業用排水路を整備することは、効率的である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	平成8年度から始まった当該事業は、平成23年度に予定された工事が完了する。